

## 「新年のご挨拶」

院長 三好 安

新しい年を迎え、デイケア新聞での挨拶は久しぶりとなります。いまだにコロナ禍は収束していませんが、重症化する症例が激減したために医療現場でも緊張感が漂うことはなくなりました。最近ではむしろインフルエンザウイルスの方が猛威を振るっており、手洗い、マスク、ワクチンなどで「人事を尽くして」、かかるか、かからないかの「天命を待つ」のが感染症という病気との向き合い方なのかなと考えています。

しかし今振り返ってみますと、その後起こったロシアのウクライナ侵攻やガザ地区におけるイスラエルの軍事行動など人間の愚かな行動を目の当たりにし、未知のウイルスに全人類が気を取られて自国内の苦難と懸命に対峙している時期の方がまだまじだつたように思えます。日本国内でも物価高、人手不足、少子化対策、防衛力強化など素人目にも喫緊の課題が山積しているにも関わらず、大阪・関西万博の開催に何千億円とか何兆円の国費負担などこの金満国家の話かと思っている矢先に、政治資金パーティー券裏金問題、閣僚辞任・・・。

そんな醜い争いごとや金に絡んだ俗っぽい行為とは全く無縁と思え、今もっとも私たちに笑顔や元気などのプラス要因を与えてくれるのは、ロサンゼルス・ドジャースに移籍した大谷翔平ではないでしょうか。野球での素晴らしい成績もさることながら、常にさらなる高みを目指してストイックに努力する姿勢を伝え聞くと心から尊敬の念を抱きます。そう言えば、将棋界の藤井聡太八冠も21歳の若さで前人未踏の偉業を成し遂げながらも、「結果は良かったがそれに見合った実力が無いので引き続き努力する」という旨の発言をしていました。彼らのような歴史に名を残すほどの一芸に秀でた人物から学ぶとすれば、慢心することがない「向上心」が肝要ということでしょう。彼らと違い、老眼もひどく、首、肩、腰、膝に慢性的な痛みがある凡人ではありますが、何らかの向上心を持って過ごせる一年になればと願っています。

## 「浅木病院を退く時を迎えて」

早川 恵子



令和5年10月末、浅木病院でのお仕事を無事に終えることができました。皆様方には十分なお挨拶もできず大変失礼致しました。ここに深くお礼申し上げます。

私は昭和56年、浅木病院開院時に理学療法士として入職致しました。学生時代からご指導頂いた三好正堂会長からはご利用者へは「親切であること」「仕事は迅速かつ正確であること」を厳しくご指導頂きました。

当デイケアは平成3年に医療保険で定員15名の利用者様から始まり平成9年に40名、介護保険が始まった平成12年に80名となり、私はこの時に病院のリハビリ室からデイケアに異動して業務に励んで参りました。在宅生活を送られる利用者様が「その人らしく安心して生活できる」ために日常生活動作能力の維持や強化の為に起立訓練を中心としたリハビリの継続をリハスタッフ、看護師、介護士と協力し努めました。状態変化がみられた場合は医師やご家族と相談し、入院となった時には在宅生活の早期復帰を目指し医療と連携を図りました。

今後も三好安院長はじめ諸先生方、師長、病棟、外来スタッフ、リハスタッフのお力添えを頂き、最善のサポートができるよう、高橋センター長中心に介護事業全職員一丸となって尽力される事と思います。

長い間支えて頂き、本当にありがとうございました。

早川先生には、多くの事を学ばせて頂きました。利用者様への心遣い、必要なリハビリのサポートをしっかりと行うことなど、これからもその意思を受け継いで、職員一丸となって精進してまいります。

どうぞ、よろしく願い申し上げます。

センター長 高橋 朋子



## 新しい浴槽の紹介



きれいな浴槽でゆっくりくつろげます。ジェットバスで温泉気分！

## 開院記念日

12月1日は、42回目の開院記念日でした。紅白饅頭にお腹も心も大満足！



## 新人スタッフの紹介



林 明里です。  
一番の新人です。  
明るく元気に頑張ります!!



安部 妙子です。  
見かけましたら気軽に声をかけてください。





# 『アンケートの結果報告』 2023/11 月実施

皆様の率直なご意見を頂くために、アンケートを実施しました。150 人の方から頂いた回答の結果をご報告します。たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

## 送迎についてお聞きします。

問1 送迎バスの運転はいかがですか？



問2 乗降介助は安全に行えていますか？

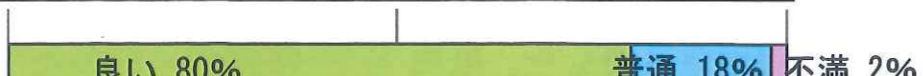


## 通所リハビリご利用についてお聞きします。

問3 フロア内の雰囲気はいかがですか？



問4 スタッフの接し方、言葉遣いはいかがですか？



## 入浴についてお聞きします。

問5 入浴の介助はいかがですか？



## トイレについてお聞きします。

問6 トイレ介助はうまく出来ていますか？



問7 トイレは清潔に保たれていますか？



## リハビリテーションについてお聞きします。

問8 リハビリのメニューに満足していますか？



## 皆様からのご意見

・故障しているリハビリの機械を早く修理してほしい

→ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。早く使用できるように手配していきます。

・休憩の過ごし方を考えて頂きたい

→昼食後から 13 時 30 分までは、ゆっくり過ごして頂く時間にしてあります。各フロアにテレビをつけています。また、新聞や本を持参される方もおられます。時間が長いと思われるかもしれませんが、フロア内に脳トレも置いてありますので活用してみてください。

・午後からのリハビリを増やしてほしい

→送迎時間が 1 便の方は、午前中に物理療法を行うことが多く午後の起立運動が終わると時間に余裕があるかもしれません。運動メニューは担当リハスタッフにご相談下さい。また、通所リハビリのフロアは往復で 120m ありますので、長距離歩行練習をすることもお勧めします。

・食事は、あと一口食べたいと思うときがある

→利用者さんそれぞれの持病と身長、体重から、医師の指示で昼食の献立や量を決めています。食事形態や量については、スタッフにご相談ください。

・脚力が弱くなってきているので、運動をお願いします  
診察で足が弱っているのでリハビリを頑張るようにと言われました

・立ったり座ったり簡単な動きなので、午前中 150 回、午後 150 回はできています

→年を重ねていく中で運動を続けて脚力を維持する事は本当に大変で、そしてとても大切なことです。起立-着席運動は簡単な運動です。

改めて、いつも行っている起立運動の効果をご紹介します

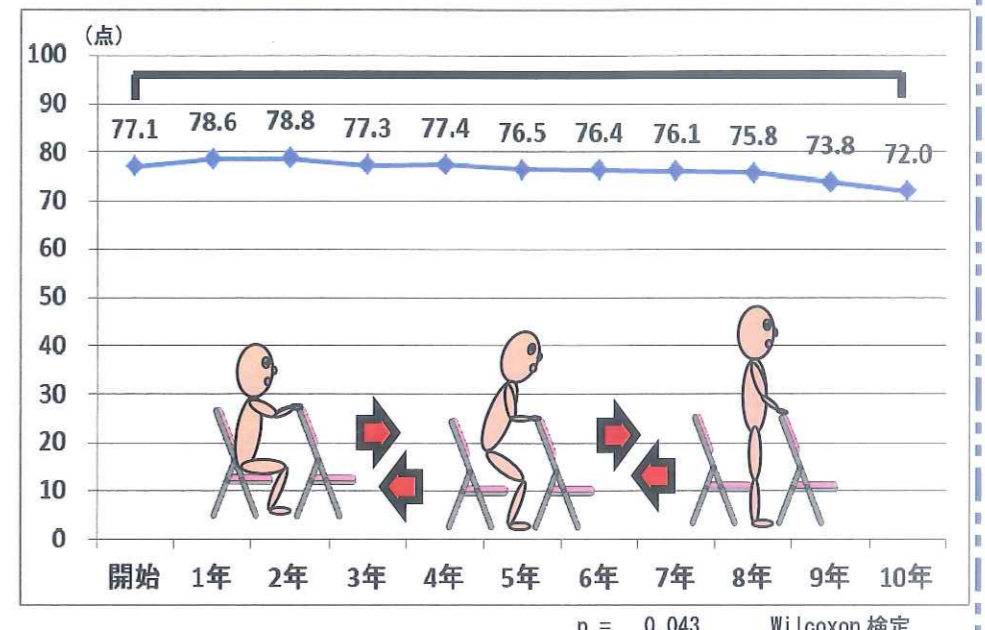
起立運動は、主に下肢筋力の強化を目的に行っています。それによって、歩行能力の維持や向上はもちろんのこと、車いすを使用する方にとっても、移乗能力の維持ができ、このことが家族の介護負担軽減にも繋がります。ただ、起立運動は単調な運動ですので、みんなで行う事で継続しやすく、また、滞在時間中の活動時間を長く確保できるように工夫しています。では、なぜ起立運動なのか？それは、①転倒の危険性が低く

安全に行えて、②イスがあればできるので経済的。③筋活動が大きく効率的、④簡単な運動なので自宅でも続けることができるからです。

起立運動を継続した利用者様の日常生活動作 (ADL) は維持できるのか？ADL を食事 (10 点) 移乗 (15 点) 整容 (5 点) トイレ動作 (10 点) 入浴 (5 点) 歩行 (15 点) 階段昇降 (10 点) 着替え (10 点) 排便・排尿コントロール (各 10 点) の 100 点満点で評価する Barthel Index (以下、B. I.) を使用し、経過を調査しました。

下表は 2000 年 4 月以降、10 年利用を継続され起立運動を続けている脳卒中後遺症の方 33 名を対象に行った調査です。開始時の 77.1 点は対象者 33 名の平均値です。

33 名 10 年間の Barthel Index 平均点の推移



9 年 10 年目では少し低下していますが、ほぼ横一直線で 10 歳年を重ねてもしっかり維持できているといえると思います。ご利用中は 400 回/日 (午前午後 200 回ずつ) まで回数を数えています。ご意見いただいた方を含め、脚力が弱くなっていると自覚されている方は、特に十分な運動量が確保できているか起立回数に気を付けていきます。「主治医の指示」や「動作が不安定になった」「介助量が増えた」ことがあればご連絡ください。日頃行われている起立運動が、少しでも楽しく行えるように工夫しながら、利用者様の運動をサポートしていきます。

医療法人羅寿久会 浅木病院通所リハビリテーション  
〒811-4312 福岡県遠賀郡遠賀町浅木 2 丁目 30-1  
TEL (093) 293-7211 2024 年 1 月発行